製品安全データシート

作成日 2010 年 06 月 03 日

1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称: ひとめぼれ水性(屋内用)
製品コード:
会社名: 株式会社コーワ
住所: 〒540-0003 大阪市中央区森ノ宮中央 1-14-10
電話番号: TEL;06-6910-6333 FAX;06-6910-6375
メールアドレス: info@kowa-hitomebore.co.jp
推奨用途及び使用上の制限: 木材等の吸水防止、カビ抑制

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	火薬類	分類対象外
	可燃性・引火性ガス	分類対象外
	可燃性・引火性エアゾール	分類対象外
	支燃性・酸化性ガス	分類対象外
	高圧ガス	分類対象外
	引火性液体	分類対象外
	可燃性固体	分類対象外
	自己反応性化学品	分類対象外
	自然発火性液体	分類対象外
	自然発火性固体	分類対象外
	自己発熱性化学品	分類対象外
	水反応可燃性化学品	分類対象外
	酸化性液体	分類対象外
	酸化性固体	分類対象外
	有機過酸化物	分類対象外
	金属腐食性物質	分類対象外
健康に対する有害性	急性毒性(経口)	分類できない
	急性毒性(経皮)	分類できない
	急性毒性(吸入:ガス)	分類対象外
	急性毒性(吸入:蒸気)	分類できない
	急性毒性(吸入:粉じん、ミスト)	分類できない
	皮膚腐食性・刺激性	分類できない
	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	分類できない
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	分類できない
	特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)	分類できない
	特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露)	分類できない
	吸引性呼吸器有害性	分類できない
環境に対する有害性	水生環境急性有害性	分類できない
	水生環境慢性有害性	分類できない

ラベル要素

絵表示又はシンボル: なし
注意喚起語: なし
危険有害性情報: なし
注意書き: 【安全対策】
すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
使用前に取扱説明書を入手すること。
スプレー施工は絶対に行わないこと。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。ー禁煙
防爆型の電気機器、換気装置、照明機器を使用すること。静電気放電や火花による引火を防止すること。
個人用保護具や換気装置を使用し、ばく露を避けること。
保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。
ミスト、蒸気を吸入しないこと。

取扱い後はよく手を洗うこと。
汚染された作業衣を作業場から出さないこと。
環境への放出を避けること。
【救急処置】
火災の場合には適切な消火方法をとること。
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。直ちに医師の診断、手当てを受けること。
眼に入った場合：水で数分間、注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。
皮膚（又は毛髪）に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。
衣類にかかった場合：直ちに、すべての汚染された衣類を脱ぐこと、取り除くこと。
汚染された保護衣を再使用する場合には洗濯すること。
ばく露又はその懸念がある場合：医師の診断、手当てを受けること。
眼に入った場合：直ちに医師の診断、手当てを受けること。
気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。
吸入した場合：直ちに医師の診断、手当てを受けること。
皮膚刺激又は発疹がおきた場合は、医師の診断、手当てを受けること。
【保管】
容器を密閉して換気の良いところで施錠して保管すること。
【廃棄】
内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

国/地域情報 データなし

3. 組成、成分情報

物質

化学名又は一般名: 混合物

別名:

化学特性（化学式又は構造式）:

成分名	重量%	化学式	官報整理番号	CAS No.
パーフルオロアルキル化合物	5 未満	非公開	非公開	非公開
ホウ酸	1 未満	BH_3O_3	1-63	10043-35-3
界面活性剤	0.1 未満	非公開	非公開	非公開
防カビ剤	0.1 未満	非公開	非公開	非公開
水	残部	—	—	—
計	100			

分類に寄与する不純物及び安定化添加物: 情報なし

濃度又は濃度範囲:

4. 応急措置

吸入した場合: 被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
医師の手当、診断を受けること。

皮膚に付着した場合: 直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと、又は取り去ること。
皮膚を流水又はシャワーで洗うこと。
医師の手当、診断を受けること。
汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。

目に入った場合: 直ちに水で数分間、注意深く洗うこと。
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が持続する場合は、医師の手当、診断を受けること。

飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
医師の手当、診断を受けること。

予想される急性症状及び遅発性症状: データなし

応急措置をする者の保護: 救助者は、火気に注意し、状況に応じて適切な保護具を着用する。

医師に対する特別注意事項: 安静と医学的な経過観察が不可欠。

5. 火災時の措置

本品は不燃性。
小火災：粉末消火剤、二酸化炭素又は散水。
大火災：散水、噴霧水。

使ってはならない消火剤:

特有の危険有害性: 火災によって刺激性、腐食性又は毒性のガス及びヒュームを発生するおそれがある。

特有の消火方法: 散水によって逆に火災が広がるおそれがある場合には、上記に示す消化剤のうち、散水以外の適切な消化剤を使用すること。
危険でなければ火災区域から容器を移動する。
移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。
消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。

消火を行う者の保護: 消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置: 危険区域から立ち退く。専門家に相談する。
直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。
処理に際して、作業者は適切な保護具（8. ばく露防止及び保護措置の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。
漏洩しても火災が発生していない場合、密閉性の高い、不浸透性の保護衣を着用する。
漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。
関係者以外の立入りを禁止する。
保護衣を着用する。
風上に留まる。
低地から離れる。
密閉された場所に立入る前に換気する。

環境に対する注意事項: 河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。
環境中に放出してはならない。

回収、中和: 少量の場合：乾燥土、砂や、不燃材料で吸収し、あるいは覆って密閉できる空容器に回収する。
大量の場合：盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いて回収する。

封じ込め及び浄化の方法・機材: 危険でなければ漏れを止める。

二次災害の防止策: すべての発火源を速やかに除く（近傍での喫煙、火花や火炎の禁止）。
排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意・取扱い

技術的対策: 『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

局所排気・全体換気: 『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行なう。

安全取扱い注意事項: 使用前に取扱説明書を入手すること。
すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずるなどの取扱いをしてはならない。
接触、吸入又は飲み込まないこと。
屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。
眼に入れないこと。
ガス、フューム、ミストの吸入を避けること。
取扱い後はよく手を洗うこと。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
環境への放出を避けること。

接触回避: 『10. 安定性及び反応性』を参照。

保管

技術的対策: 保管場所の床は、床面に水が浸入し、又は浸透しない構造とすること。
保管場所には、必要な採光、照明及び換気の設備を設けること。

保管条件: 強酸化剤等と同一の場所で保管しないこと。
容器は直射日光や火気を避けること。
容器を密閉して涼しい所、換気の良い場所で保管すること。
法規に規定された基準に従って保管すること。

混触危険物質: 『10. 安定性及び反応性』を参照。

容器包装材料: 消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度: 設定なし

許容濃度（ばく露限界値、生物学的ばく露指標）:

日本産業衛生学会（2005 年版）: 設定なし

ACGIH（2005 年版）: 設定なし

設備対策: 取り扱いに際しては、全体換気装置を設置した場所で行うこと。
密閉された装置、機器又は局所排気装置を備え付けた装置、機器で使用すること。
気中濃度を推奨された管理濃度以下に保つために、工程の密閉化、局所排気、その他の設備対策を使用すること。
この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。

保護具

呼吸器の保護具: 適切な呼吸器保護具を着用すること。

手の保護具: 適切な保護手袋を着用すること。

眼の保護具: 適切な眼の保護具を着用すること。
安全眼鏡を着用すること。（普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型）

皮膚及び身体の保護具: 適切な顔面用の保護具を着用すること。

衛生対策: 取扱い後はよく手を洗うこと。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態、形状、色など:	無色半透明～透明
臭い:	微臭
pH:	データなし
融点・凝固点:	データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲:	データなし
引火点:	データなし
爆発範囲:	データなし
蒸気圧:	データなし
蒸気密度(空気 = 1):	データなし
比重(密度):	データなし
溶解度:	水に任意に分散
オクタノール/水分配係数:	データなし
自然発火温度:	データなし
分解温度:	データなし
臭いのしきい(閾)値:	データなし
蒸発速度(酢酸ブチル =1):	データなし
燃焼性(固体、ガス):	該当しない
粘度:	データなし

10. 安定性及び反応性

安定性:	通常の取扱いにおいては安定である。
危険有害反応可能性:	強酸化剤と反応する。
避けるべき条件:	高温、空気、日光
混触危険物質:	強酸化剤、強アルカリ。強酸、金属等
危険有害な分解生成物:	一酸化炭素、フッ酸等

11. 有害性情報

	経口　　データ不足のため分類できないとした。
	吸入(蒸気)　データ不足のため分類できないとした。
皮膚腐食性・刺激性:	データ不足のため分類できないとした。
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性:	データ不足のため分類できないとした。
呼吸器感作性又は皮膚感作性:	データ不足のため分類できないとした。
生殖細胞変異原性:	データ不足のため分類できないとした。
発がん性:	データ不足のため分類できないとした。
生殖毒性:	データ不足のため分類できないとした。
特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露):	データ不足のため分類できないとした。
特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露):	データ不足のため分類できないとした。
吸引性呼吸器有害性:	データ不足のため分類できないとした。

12. 環境影響情報

生態毒性:	
魚類	データ不足のため分類できないとした。
甲殻類	データ不足のため分類できないとした。
残留性・分解性:	情報なし
生体蓄積性:	情報なし

13. 廃棄上の注意:

残余廃棄物:	廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。 廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。
汚染容器及び包装:	容器は、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制	危険物に相当しない。
国内規制	危険物に相当しない。
特別の安全対策	輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認すること。 運搬容器が落下し、転倒もしくは破損しないよう積載し、荷崩れの防止を確実に行うこと 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。 食品や飼料と一緒に輸送してはならない。 重量物を上積みしない。

15. 適用法令

労働安全衛生法:	非該当
労働基準法	非該当
消防法	非該当
PRTR 法	非該当
毒物劇物取締法	非該当
船舶安全法:	非該当
航空法 :	非該当

16. その他の情報 株式会社コーワ

問い合わせ先: 本製品に関する決定は使用者の責任において行うこと。

その他: 記載された情報は当社の最新の知見に基づくものであるが、情報の完全さ、正確さを保証するものではないので留意すること。
記載された情報は新しい知見に基づき改訂することがある。